

## 令和 7 年度 第 2 回 「淡路島観光戦略会議」 議事要旨

日時：令和 7 年 1 0 月 3 日（金） 15:00～16:00

場所：洲本市健康福祉館 3 階会議室

出席者：淡路県民局長、洲本市長、南あわじ市長  
淡路市長、淡路島観光協会会長

議題（１）令和 7 年度 淡路島総合観光戦略アクションプランの  
取組状況について

（２）その他

事務局から資料 1、2、3 について一括して説明

### ①本物体験プログラムについて

#### 【構成員】

- ・ 進捗状況や現在の手応えはどのような感じか。

#### 【事務局】

- ・ インバウンドについては、明確に増えている実感はまだない。  
時間はかかると思うが、今は種まきの時期である。2 年程前から  
ネットワーキングイベントを通じて知り合った DMC の方に対し  
FAM トリップを実施し、課題の収集や改善策を講じている状況。  
首都圏の方は、着実に増えている実感がある。  
本物体験プログラムを通じて、今までインバウンドの方を意識し  
ていなかった事業者・生産者の方の意識改革が進んでいる実感  
がある。

#### 【構成員】

- ・ 特に人気があるコンテンツはどれか。

#### 【事務局】

- ・ 海ホテルショーは昨年同様人気がある。他に漁業体験や瓦体験も  
以前より予約が入ってきている。

## 報告事項（関空及び神戸空港関連淡路地域振興事業にかかる取組状況について）

### （１）空港利用者等を淡路島に誘客する観光関連施策の推進

#### 事務局から資料４について説明

#### ①OTA サイト連携キャンペーンについて

##### 【構成員】

- ・ 成果や実績はどのような状況か。

##### 【事務局】

- ・ 旅行者数自体は落ち込んだ時期もあったが、今はほぼ前年並み。

##### 【構成員】

- ・ OTA クーポンの販売件数はどのような状況か。

##### 【事務局】

- ・ クーポン自体はすぐ売れた状況。

##### 【構成員】

- ・ 確実に首都圏からの旅行者は増えており、事業の手ごたえを感じている。

#### ②FAM トリップについて

##### 【構成員】

- ・ ツアーに繋がったケースはあるか。

##### 【事務局】

- ・ すぐツアーに繋がったケースはないが、FAM トリップを通じて知り合った DMC の方にコンテンツのタリフを都度送付するなどして、反応を確認している。

##### 【構成員】

- ・ 今後も繋がりをもって活動していただきたい。

## (2) 空港と淡路島を結ぶアクセス及び島内交通の充実 (淡路島 MaaS 全体計画 (案))

洲本土木事務所 (事務局) から資料 5 について説明

### 【構成員】

- ・ 南あわじ市の公共交通の課題は、「観光」「ラストワンマイル」「部活の地域移行」の 3 つがある。この 3 つの課題を組み合わせた交通体系を進められたらいいと思う。

### 【事務局】

- ・ 交通空白地の課題解決について、国をあげて取り組んでいるので、それらの課題も視野に入れながら今後検討していきたい。

## ① タクシーについて

### 【構成員】

- ・ 運転手不足もありタクシーの台数が少なくなっていることも課題である。タクシーも事業のひとつの軸として入れてもいいのではと思う。

### 【事務局】

- ・ 県としては、運転手確保に向けて、2 種免許取得支援を行っている。

## ② 夜間の公共交通について

### 【構成員】

- ・ 淡路市でもコミュニティバスを走らせているが、最終は 20 時である。観光のことを考えると、夜間の公共交通についての観点があっていいのではと思う。

### 【事務局】

- ・ 夜間の公共交通不足については、全国的にも課題になっており、日本版ライドシェアの活用も検討されている。

### ③交通全般について

#### 【構成員】

- ・ 資料2のP9の交通の事業(レンタカー、カーシェアの活用促進)について、淡路島 MaaS 全体計画(案)の中に、盛り込んでほしい。
- ・ バス乗り場の機能強化において、デジタルサイネージのバス遅延情報等の表示については、一定の地域拠点には必要かと思う。
- ・ 宿泊事業者の送迎の駐車スペース確保計画を検討いただきたい。
- ・ 関西 MaaS の中に、ワイドエリアパス(乗り放題パス)があるが、淡路島(バス)はパスの対象外になっている。インバウンドの地方誘客をするために、国際観光旅客税を財源とした交通空白地を作らないような取組について地方から国に対して働きかけが必要。
- ・ バスの機能強化において、ICOCA 導入とあるが、世界の主流はクレカの VISA タッチであるので、検討いただきたい。
- ・ 二次交通について、カーシェアリングの整備を観光協会・3市で進めている。今後更に増やしていこうとしているので、計画に追記してほしい。
- ・ 船便について、既にある深日－洲本航路を更に発展させ、深日－関空－洲本を試験的に実施することや、徳島空港－南あわじ市のオニオンバスの繋がりが広がることで、交通機能の強化に繋がると思われる。
- ・ 神戸港にヨットハーバーが整備されることを念頭においた計画にしてほしい。
- ・ 神戸空港発淡路島行きバスの増便と高速バスのオープンドア化も進めていただきたい。

#### 【事務局】

- ・ カーシェアリングについて計画から漏れていたため、追記する。
- ・ 宿泊事業者の送迎の駐車スペースの確保についても、不足している箇所について充実を図っていく。
- ・ ICOCA については、事業者中心で全県統一の方向になっている状況。クレカの VISA タッチについては、生活交通において学生がクレジットカードを使えないといった課題があるが、事業者と調整している本庁に意見として伝える。
- ・ 船便については、深日－洲本航路を成功させるとともに、新たな船便の検討を進めていきたい。

(その他全体を通して)

【構成員】

- ・ アクションプランの進捗状況を見る限り、着実に進んでいることがよく分かった。今後は、万博終了後の方向性について引き続き検討していただきたい。

【構成員】

- ・ 観光素材の磨き上げは、観光協会が中心となって実施しているが、今後 AI を活用した旅行エージェントも出てくると思われる。魅力的な観光素材があれば、AI が選定してくれると思うので、今やっている観光素材の磨き上げは重要になってくると思う。
- ・ 今後、観光地や市街地など、エリアやスポットの整備が必要と思う。具体的には、街路樹や看板、照明等が綺麗に整備されれば、観光客にとっても目に見えて印象は良くなる。

【構成員】

- ・ 街路樹やトイレの整備など観光客にとって街の見た目は重要である。

【構成員】

- ・ 南あわじ市では観光拠点である福良の空き家を活用してお店を作る取組を進めている。この取組が街の整備の先導になるのかなと思う。

【構成員】

- ・ 今日頂いた意見を踏まえ、アフター万博の方向性を含め、この場で協議していきたい。

以上